

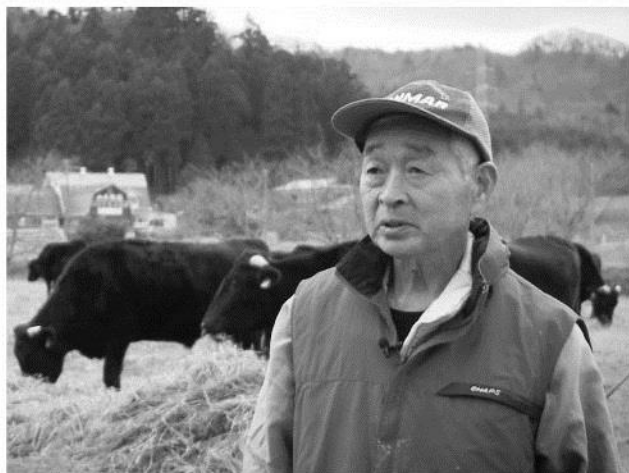


あらゆる福島の内側へー

福島映像祭 2017

会場：ポレポレ東中野 / Space&Cafeポレポレ坐 主催：OurPlanet-TV 共催：ポレポレ東中野

2017年9月16日(土) ▶ 9月22日(金)



<http://fukushimavoice.net/fes>

上映作品 会場：ポレポレ東中野

『福島生きものの記録 シリーズ5～追跡～』

(2017年/95分/HD)

監督:岩崎 雅典/撮影:明石 太郎/録音:吉田 茂一/脚本協力:坂口 康
ナレーター:山川 建夫/作品提供:群像舎

震災から6年が経ち、被ばくした母親から生まれた当時の子猿が自身も出産するようになった。白血球数の減少、植物の奇形化なども見受けられるが、放射線汚染の被害は未だ一部も明らかにならない。

■上映日=9/18(月・祝) ★上映後、監督による舞台挨拶あり!



© 2016 Power-I, Inc.

『被ばく牛と生きる』

(2017年/104分/HD)

監督・編集:松原 保/プロデューサー:椿葉 健/ナレーション:竹下 景子
音楽:ウオン・ウィンツァン/作品提供:太秦

帰還困難区域からは家畜の移動が制限されている。出荷はおろか、移動さえ許されない牛たち。その家畜たちを殺処分から守ろうと奮闘する酪農家たちの5年余りを描いたドキュメンタリー。

■上映日=9/20(水) ★上映後、監督による舞台挨拶あり!

『Life 生きてゆく』

(2017年/115分/HD)

監督・撮影・編集:笠井 千晶/音楽:スティーヴ・ボティンジャー/作品提供:想い願うプロジェクト

福島第一原子力発電所から22km離れた福島県南相馬市。津波によって幼い子どもを失った父たちの5年を描く。震災後に生まれた末っ子は兄と姉を知らずに育ち、亡くなった娘は小学校の卒業の年を迎える。

■上映日=9/17(日)・9/21(木) ★両日ともに上映後、監督による舞台挨拶あり!



©Hanno Lentz-Majestic

『フクシマ・モナムール』

(2016年/108分/HD)

監督:ドリス・デリエ/撮影:ハンノ・レンツ/音楽:ウルリケ・ハーゲ

出演:ロザリー・トーマス、桃井 かつお/作品提供:ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター

ドイツから慰問に訪れた大道芸人が仮設住宅で出会った女性。かたくなに心を閉ざしたように見えるその老婆には、心を開けない理由があった。誰もいなくなった村の半壊した民家で邂逅する二つの魂を描くベルリン映画祭受賞作。

■上映日=9/16(土)・9/19(火)

特別プログラム 『福島から6年、チェルノブイリから31年』 ■開催日=9/22(金)

福島第一原子力発電所の事故から6年、チェルノブイリ原発事故から31年の月日が経っても未だ放射線災害という人類史上類を見ない災害の全貌は見えませんが、汚染値は下がっても村には誰も帰って来ない月日を描いた『ベラルーシ再訪2017』。そして、大震災という未曾有の出来事を前にそれをどう言葉にしていけるのか。毎日を費やして行われる詩人・吉増剛造の模索と格闘を追った『怪物君』を参考上映しながら、制作者によるトークを行います。

★トーク(参考上映終了後、30分程度): 伊藤 憲(『怪物君』監督) × 本橋 成一(『ベラルーシ再訪2017』監督)



『怪物君 詩人・吉増剛造と震災』

(2016年/60分/HD)

監督・ナレーション:伊藤 憲/撮影:夏海光造、水野 宏重/プロデューサー:寺島 高幸/作品提供:テレコムスタッフ

詩人・吉増剛造は2011年3月11日以降、詩作とどのように向き合ったら良いのか、前人未踏の試みが続いていた。そこで見いだした“野線”を引くという行為。浪江町の被災地で出会った揺れ続ける鉄片の“音”。そして未だ見たことのない原稿が出来上がっていく。



『ベラルーシ再訪2017』

(2017年/35分/HD)

監督:本橋 成一/プロデューサー:大槻 貴宏/撮影・編集:石川 翔平/作品提供:ポレポレタイムス社、ポレポレ東中野

チェルノブイリ原発の放射線汚染地を舞台にした映画『ナージャの村』と『アレクセイと泉』。二作の監督・本橋成一は12年ぶりにそれらの村々を訪ねる。事故から31年、人々はどのように暮らし、村はどうなっているのか。

イベント 会場: Space&Cafe ポレポレ坐

9/16(土) 13:00~15:00(開場 12:30)

市民部門上映&トーク

わたしが伝える福島

市民部門に寄せられた作品の中から3作品を上映。今回は映像だけでなく、初めて写真も選考。極私的な視点から福島を見つめたもの、他県に避難した双葉町の住民を記録したもの、福島の自然を静かに描いたもの、それぞれの作品の制作者をゲストに、作品に込めた想いを聞く。

ゲスト: 市民部門上映作品の制作者のみなさん

米田博/堀切さとみ/すぎた和人

進行: 平野隆章 (OurPlanet-TV)

コメンテーター: 下村健一 (白鷗大学客員教授/元TBS報道キャスター)

上映作品

「私が見た...福島」



■制作: 米田博/2017年/10分

2015年の7月に福島へ足を運び、2年間撮りためた写真をスライドショーにまとめた。極私的な視点で切り取られた福島の風景を、トークを交えながら紹介する。

「原発の町を追われて3 双葉町・ある牛飼いの記録」



■制作: 堀切さとみ/2017年/26分

福島第一原発が立地する町から全国に避難した双葉町民。今も誰一人ふるさとに帰ることはできない。避難先の埼玉県で自立して生きようとする畜産家、鶴沼久江さんを軸に、事故から6年たった双葉町の人たちの姿を追った。

「小高の春 ~ 福島映像祭2017バージョン」(15分)



■制作: すぎた和人/2017年/15分

制作途中のドキュメンタリー「小高の春」から一部を抜粋して上映。白鳥が舞い、春の訪れを感じる自然の中に、対照的に映り込む除染作業。福島県南相馬市小高区の日常風景を静かに描く。

9/16(土) 16:00~18:00(開場 15:30)

上映&トークセッション

仮設校舎の6年を経て~南相馬市立小高中学校の記憶

原発事故によって避難を余儀なくされた南相馬市立小高中学校。多くの世帯が全国各地に避難し、生徒数は事故前の3分の1に激減。生徒の大半は仮設住宅などで暮らし、バスで通学。仮設校舎での学校生活は6年間に及んだ。そして今年4月、生徒たちは避難前の小高区内の本校舎に戻り、新しい生活を始めている。OurPlanet-TVが2013年から撮りためてきた映像を見ながら、現校長の荒木清隆先生と、事故当時、教頭だった荒木幸子先生にお話を伺う。

ゲスト: 荒木清隆 (福島県南相馬市立小高中学校 校長)

荒木幸子 (福島県双葉郡楢葉町立楢葉中学校 校長)

聞き手: 白石草 (OurPlanet-TV)

9/18(月・祝) 13:00~15:00(開場 12:30)

特別上映&トーク

福島中央テレビの現場から

福島中央テレビによるローカルニュースを上映する毎年恒例企画。いま、福島のテレビ局は日々、何を、どう伝えているのか? なぜ、それを報道するのか?

福島中央テレビ常務取締役報道制作局長の佐藤崇さんをゲストに、あまり語られることのないテレビの「裏側」の思いを聞く。

ゲスト: 佐藤崇 (福島中央テレビ 取締役報道制作局長)

聞き手: 七沢潔 (NHK放送文化研究所・上級研究員)



佐藤崇 (福島中央テレビ 取締役報道制作局長)

1956年福島県相馬市生まれ。中学高校時代を双葉郡富岡町で過ごす。1980年福島中央テレビ入社、イヌワシや尾瀬などの自然保護をテーマにした取材が多い。原発監視カメラの設置を提案し、茨城 JCO事故の翌2000年に実現。2011年、福島第一原発事故の瞬間をとらえた唯一のカメラとなる。

※上映するニュースクリップの詳細は後日ウェブサイトにて掲載予定です
※無料上映(但しトーク料・資料代として参加料をいただきます)

特別企画 会場: ii-BRIGDE (東京都千代田区飯田橋4-7-4) ★こちらの特別企画は別日程で、会場は飯田橋となります。詳細・ご予約はこちらからご確認ください: <http://fukushimavoice.net/2017/08/2642>

福島 × VR 体験

9/29(金)~10/1(日)

「仮の住処」を「仮想体験」する

11:00 OPEN/18:00 CLOSE
入場無料 ※カンパをお願いします

>> 被災の記憶・継承と共感 <<

仮想現実や複合現実の技術 (VR, MR) を用いた2つの体験型展示を通して、被災者が経験した「仮」の場を「仮想空間」で再現。原発事故への関心は薄れつつありますが、疑似体験を通して被災者の声を受け継ぎ、震災の記憶の継承を目指しています。

PROJECT 1 仮設校舎の記憶~福島県南相馬市立小高中学校

360°すべてを撮影するカメラ「RICOH THETA」を使い記録保存した「バーチャル仮設校舎」を、VRゴーグルを装着して体験。子どもたちの仮設校舎での思い出を共有します。

PROJECT 2 Virtual Reality Game: PERMANENT

避難者の「仮の住処」で展開される仮想現実ゲーム。VRゴーグルを装着し、リモートコントローラーを手に、約16㎡のスペースを自由に歩き回りながら、仮設生活を追体験します。

■主催: OurPlanet-TV ■協力: アイントホーフエン工科大学 | アムステルダム応用科学大学 | オランダ科学研究機構
■助成: オランダ王国大使館 | 公益財団法人ベネッセこども基金 | LUSHチャリティバンク

タイムテーブル

9/16 (土)	10:40 映画「フクシマ・モナムール」(地下劇場) 13:00 イベント「市民部門上映・わたしが伝える福島」(1Fポレポレ坐) 16:00 イベント「仮設校舎の6年を経て」(1Fポレポレ坐)
9/17 (日)	10:40 映画「Life 生きてゆく」★笠井千晶監督舞台挨拶(地下劇場)
9/18 (月・祝)	10:40 映画「福島 生きものの記録5」★岩崎雅典監督舞台挨拶(地下劇場) 13:00 イベント「福島中央テレビの現場から」(1Fポレポレ坐)
9/19 (火)	10:40 映画「フクシマ・モナムール」(地下劇場)
9/20 (水)	10:40 映画「被ばく牛と生きる」★松原保監督舞台挨拶(地下劇場)
9/21 (木)	10:40 映画「Life 生きてゆく」★笠井千晶監督舞台挨拶(地下劇場)
9/22 (金)	10:40 特別プログラム「福島から6年、チェルノブイリから31年」(地下劇場)

料金

《映画・イベント共通》三回券 3,600円 ■上映・イベントでご使用可 ■前売券はございません

映画 当日：一般1,500円／シニア1,200円／大・専・障害者1,000円／高校生以下700円
■当日整理番号の受付が必要となります ■満席の際はお入り頂けない場合もございます

イベント 予約・当日：1,500円(三回券使用可)
予約 03-3227-1405 / event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムス社)
■お席に限りがございますのでご予約をお願いいたします

会場

東京都中野区東中野 4-4-1ポレポレ坐ビル

映画上映：地下(映画館)

ポレポレ東中野 TEL 03-3371-0088
<http://www.mmjp.or.jp/pole2/>

イベント：1F(カフェ)

Space&Cafe ポレポレ坐 TEL 03-3227-1405
<http://za.polepoletimes.jp/>



JR東中野駅西口北側出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線A1出口より徒歩1分